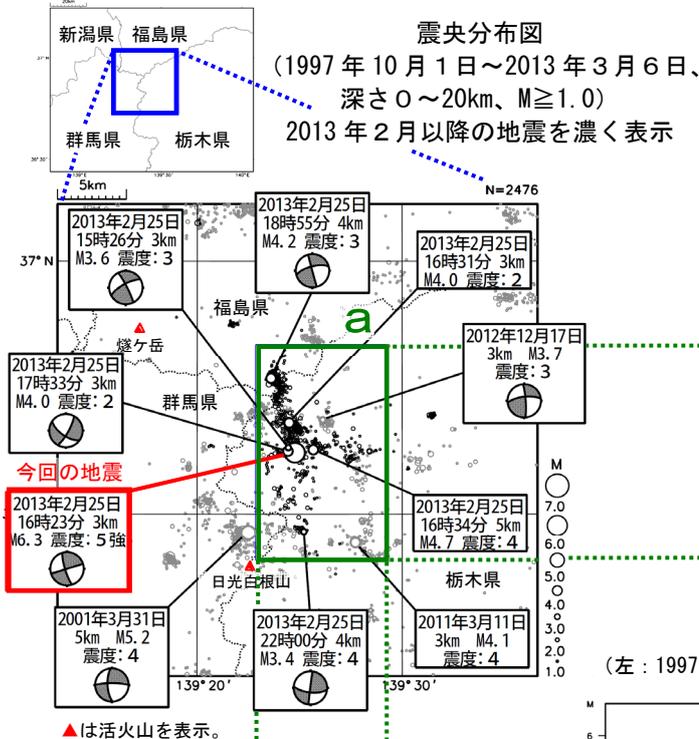


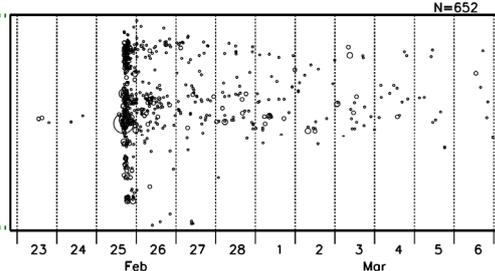
2月25日 栃木県北部の地震

2013年2月25日16時23分に栃木県北部の深さ3kmでM6.3の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。今回の地震の震央付近（領域a）では、2月23日頃から地震活動が見られており、約1時間前の2月25日15時26分にもM3.6の地震（最大震度3）が発生していた。今回の地震の発生後、活発な余震活動が見られ、同日16時34分にM4.7の地震（最大震度4）が発生するなど3月6日までに震度1以上を観測する余震が60回発生している。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M2.0以上の地震はあまり発生していなかったが、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が活発になり、2012年12月17日にM3.7の地震（最大震度3）が発生している。

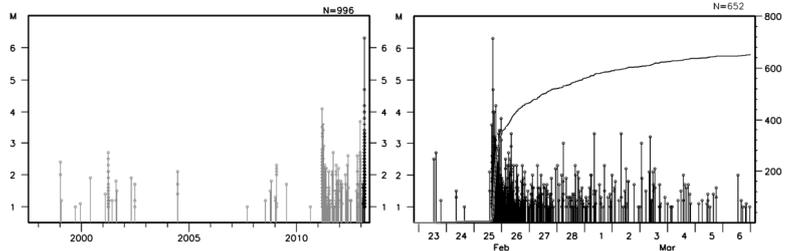


領域a内の時空間分布図 (南北投影)
(2013年2月23日～3月6日)

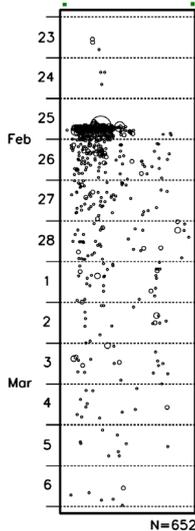


領域a内のM-T図及び回数積算図

(左: 1997年10月1日～2013年3月6日、右: 2013年2月23日～3月6日)

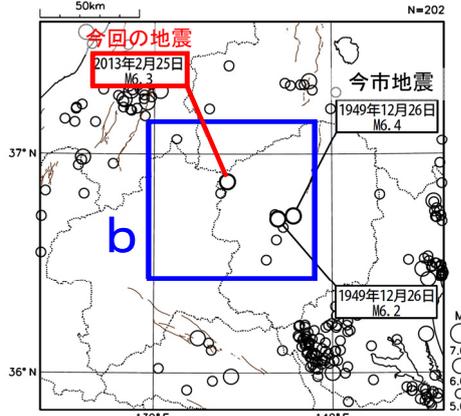


領域a内の時空間分布図 (東西投影)
(2013年2月23日～3月6日)

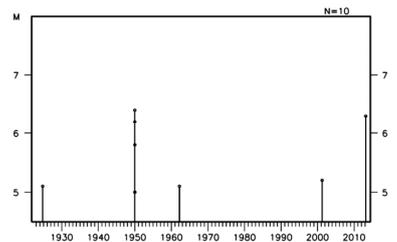


1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1949年12月26日に今市地震（M6.4）が発生しており、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟などの被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。今市地震とその余震を除くと、今回の地震の震央周辺ではM5.0以上の地震はほとんど発生していなかった。

震央分布図 (1923年1月1日～2013年3月6日、深さ0～60km、M≥5.0)



領域b内のM-T図



細線で地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表示